

2020 年度

ボランティア活動報告集

富山短期大学 学生部 ボランティア支援センター

ごあいさつ

2020 年度のボランティア活動におきまして、多くの皆様のご協力とご支援いただきましたことを感謝いたします。

本年度は、コロナ感染症の拡大に伴い、ボランティア活動の多くを自粛することとなりました。本学では、知性と教養に合わせて、人間性の向上を教育の柱としてとらえています。

ボランティア活動における人とのかかわりは、人間性の向上には欠かせない活動として重要視しておりますが、コロナ禍においてその人とのかかわりを中心にしたボランティア活動が非常に少なくなったことは残念です。

しかし、このような貴重な学びの機会が少なくなった中ではありますが、学生はコロナ禍でもできる活動に参加し学びを深めてきました。

ここに、昨年度の活動した学生の学びの報告集を作成いたしました。学生にとっては今後の学びの参考や、参加意欲の向上につなげてもらえたらと思います。

本学のボランティア活動を応援してくださっている地域の方々、福祉施設や各種団体の皆様には、学生の学びの場を設けてくださったことを心より感謝するとともに今後もまた引き続きご協力をお願いしたいとおもっております。

コロナ感染や自然災害に見舞われた 1 年となりましたが、一日も早く平穏な生活に戻れることを心からお祈りいたします。

2021 年 3 月

富山短期大学
ボランティア支援センター長
大森 宏一

目 次

1. ごあいさつ ボランティア支援センター長 大森 宏一 -----	1
2. 報告 1 ボランティアを通じて 幼児教育学科 2 年 大宅 玲奈 -----	3
3. 報告 2 ボランティアを通して 幼児教育学科 1 年 田村 優奈 -----	5
4. 報告 3 成長と新たな可能性 食物栄養学科 1 年 野坂 怜菜 -----	7
5. 報告 4 ボランティア活動報告 食物栄養学科 1 年 金子 明衣花 -----	9
6. 報告 5 レクリエーションから学んだこと 健康福祉学科 1 年 瀬戸 璃音 --	11
7. 報告 6 長所を生かしたボランティア 幼児教育学科 1 年 安部 圭祐 -----	13
8. 報告 7 ボランティアで幸せに 食物栄養学科 2 年 宮本 佳奈 -----	15
9. 報告 8 ボランティア活動報告 経営情報学科 1 年 澁谷 梨乃 -----	17
10. 報告 9 知見を広めてくれたボランティア 経営情報学科 2 年 道林 桃香 --	19
11. 報告 10 ボランティアに参加して 幼児教育学科 1 年 吉野 由貴 -----	21
12. 報告 11 行動して大切だったこと 経営情報学科 2 年 岩上 亜実 -----	23
13. 報告 12 私の成長の場 幼児教育学科 1 年 竹腰 菜々美 -----	25
14. 2020 年度ボランティア活動報告集を読んで 健康福祉学科 教授 関 好博 ---	27
15. 編集後記 -----	28

活動目的・背景

これまで中学生や高校時代からボランティアには興味があったものの、部活などがあり、存在すら分からず参加できていませんでした。しかし、本学に入学し、気軽にアクセスできる Web ボランティア手帳の存在を知りました。必要とされている場所に向かい、多くの人と関わり合っていきたい、また、学生の中にしかできない多くの種類の経験を積んでおきたいと感じたことから、活動しようと決意しました。

活動実績・活動内容

付属みどり野幼稚園の夏祭り補助をきっかけに、介護施設の秋祭り補助、知的障害を持つ方とのボウリング交流会、介護職員・社会福祉士らと過疎に住む高齢者との対談、コロナ禍において休校を余儀なくされた子どもたちへ塗り絵・手紙のやり取り、放課後等児童クラブでの学童学生サポーターとして活動してきました。子どもから高齢者幅広い年代の方々と障がいの有無に関わらず、交流を重ねました。



Web ボランティア手帳
スマートフォン版
ログイン画面

学んだこと・成果

特に印象的な活動を取り上げます。学校休校中、コロナ禍において学校や習い事など子どもたちの大切なコミュニティが減りつつありました。学童学生サポーターでは子どもたちと全力で遊び、話を聞き、向き合ってきました。時には子ども同士が関わる貴重な機会を見守る大切さを実感しました。親子が家庭で過ごす期間中、子どもと保護者両方と接点を持ち続け、気に掛けることが不安を軽減することにつながっていました。放課後等に児童クラブなどの子育て支援機関が行政と連携を図って対応している姿を目前にし、協働する大切さに気付かされました。



コロナ禍において休校を余儀なくされた
子どもたちとの手紙

提案・後輩へアドバイス

「ボランティア」と聞くと身構えてしまうかもしれませんが、募集先は気さくな方ばかりで、帰るころには楽しく感じられました。学び多く充実した日を過ごせたと実感できると思います。実際私にとってこのボランティアの経験は短大生活の思い出の一つとなりました。予定がない日にボランティア募集を探して、友達と出かける感覚で、まずは1回体感してみると可能性が広がるかもしれません。

今後に向けて

ボランティアの受け入れ先には温かい方が多く、仕事ではなく人として対等に接する職員に憧れを感じた出会いもありました。私自身、ボランティアを通じて大学入学前よりも見ず知らずの人と関わることに抵抗が薄れました。また、広い考え方ができるようになりました。今後保育士として就職していく中で、このボランティア活動で培った人とかかわり方を生かしていきたいと思います。



富山市手をつなぐ育成会ボウリング大会のサポート 表彰式で賞品のお渡し

講 評

本学に入学したことで、ボランティア活動に積極的に参加できたようです。入口は狭いように感じるかもしれませんが、些細なきっかけで行ってみると多様な経験や色々な人と出会うことができます。ボランティアは、「誰かのため」と思いつつ、自分を変える機会を与えてくれる貴重な時間です。年齢や考え方の違う人との出会いは、今後社会へ出た時につながる学びとなります。ボランティアを通して、変化した心境や考え方を自分の中で、整理しておくといよいでしょう。それが自己成長に気づくものさしになります。

(幼児教育学科 教員)

活動目的・背景

私は高校生の時に人見知りを直そうと思い、ボランティアを始めました。自分のために始めたことでしたが、ボランティアで様々な人と関わり、人と関わる楽しさや人の役に立てる嬉しさなどがボランティアの魅力だと感じ、短大に入ってからでもボランティアを続けようと思いました。短大入学後は、ボランティアを通してこれまで以上に様々なことに挑戦したい、自分自身のスキルアップに繋がりたいという思いを持ってボランティアに参加しました。また、特に今年度は、コロナ禍で人の役に立ちたいという思いが強かったです。

活動実績・活動内容

- ・2020（令和2）年5月 コロナ禍で在宅での子育て支援を考える
子ども支援文通ボランティア（なぞなぞ・ぬりえ・迷路作り）
コロナ対策 子ども用マスク作りボランティア
- ・2020（令和2）年8月29日、10月10日 リボン from とやま主催「オンラインで子育て支援」
- ・2020（令和2）年12月12日 富山グラウジーズ試合運営補助ボランティア
- ・2021（令和3）年1月16日 はっぴーママオーディション（撮影会）子どもたちの付き添い等

学んだこと・成果

今年度参加したボランティアからは沢山のことを学び、自分の成長に繋がったと感じています。学生が企画して、実行するボランティアを経験してからは、自分の意見を相手に伝えることができるようになりました。以前の私は自分に自信がなく、人の意見に流されてばかりいました。しかし、自分たちで企画していくなかで子どもが楽しめる内容にしたいという思いが強くなっていき、他人任せではなく自分の意見を相手に伝えることができるようになり、自分のスキルアップに繋がったと感じています。時々仲間と意見がぶつかることもあり大変でしたが、仲間とともに一つのことを築き上げる楽しさや嬉しさも学ぶことができました。他にも、一つのことに一生懸命取り組むこと、子どもたちが楽しめることを考えることなど、将来に繋がる経験ができました。実際に子どもと交流して企画を実行した際に、子どもが楽しそうに遊んでいる姿や、子どもや保護者からの「ありがとう」を言ってもらえた時には、人を笑顔にすること、人の役に立つことができた喜びを感じました。

コロナ禍で人との交流ができない中で行った文通ボランティアや手作りマスクボランティアでは、相手との交流がなくても自分にできることがあると実感しました。人と人が会えないからこそ、人と何らかの形で繋がる大切さ、自分にできることはないかと行動する自主性、特に人と人が繋がる重要性など、コロナ禍から学べたことは自分の中でも大変大きかったです。

提案・後輩へアドバイス

ボランティアに参加するきっかけは楽しそうだから・友だちに誘われたからなど、どのようなことでもいいと思います。とにかくボランティアに参加することに意義があると思います。何事もやってみなければその良さなどには気づくことができません。ボランティアに参加していると、何かを学んだり、人の役に立てる嬉しさを知ったりなど、自分のためになることがあると思います。その経験が次もやってみようという気持ちになったり、将来に繋がったりすると思います。だから、ボランティアに興味がない方でも在学中に、一度でいいからボランティアに参加してもらいたいと思います。

今後に向けて

二年次になってもボランティアに積極的に参加していきたいと思っています。様々なボランティアに参加したいと思っていますが、特に人と交流するボランティアをとおして、自分の社会性を伸ばしたいと思っています。そして、その経験で培った社会性を、子どもと保護者、保育者同士との人間関係が大切となる将来に生かしたいです。また、ボランティアから学ぶ姿勢を忘れずに参加したいと思っています。



子育て支援活動



オンラインで子どもたちと一緒に踊りました



実際に作ったコロナ対策
手作りマスク

講 評

人間関係が希薄になったといわれる現代ですが、コロナ感染によってさらに人とのかかわりが少なくなっていました。田村さんが参加したボランティア活動は、実際に人とかかわり、人から様々なことを学んだことと思います。またコロナ禍においても、交流ができない中でできることを考えて実践したことは大変良い経験になったことと思います。実際の活動とその準備においても人間としての幅が大きくなったと信じています。今後の更なる活動を期待しています。

(幼児教育学科 教員)

活動目的・背景

私がボランティア活動に参加した理由は、人の役に立ちたいという思いからです。きっかけは小学校 2 年生の夏の頃、あることで怪我をしました。手術をして入院。退院しても、リハビリがあり結果的に約 1 年と数か月でやっと完治しました。私はこの 1 年と数か月で、お医者さんや看護師さん、家族や学校の先生、友人にたくさん助けてもらいました。まだ自分は幼かったため何でお礼をしたらいいのかわかりませんでした。そんな時に家族に言われたある言葉をきっかけに、周りに恩返しをするつもりで人の役に立とうと、日常生活やボランティア活動で意識するように心掛けました。

ボランティア活動は私にとっての非日常であり、様々な世代の方々とかかわることができる、また、「自分にはこういうことができる」という新たな発見もある、といった“楽しむ”、“私自身の居場所”という実感を得たいという思いもありました。

活動実績・活動内容

私は、2020（令和 2）年 6 月と 9 月に富山駅前マリエとやま 6 階にある赤十字血液センター マリエ献血ルームで 9 時 55 分～5 時 15 分まで次の活動を行いました。

【来店者へのアルコール消毒の確認と検温】【お菓子の補充及び袋詰め】【1 時間に 1 回の消毒（机・椅子・ロッカーの扉とハンガー）】【配布物折り】【帰られる方への対応】【翌日の準備】等です。



1 時間に 1 度の消毒作業

学んだこと・成果

私は、高校生まで地元上市町のみでボランティア活動に励みました。多くは施設のお祭りといった運営の活動が多かったため、短大生になって初めてお祭り以外のボランティア活動に参加しました。始めは、どういったものか全く想像ができなかったため不安でした。しかし、それ以上に新鮮な気持ちでまた新しい自分になれると考えるとわくわくしました。

新型コロナウイルスが流行っている中での活動は、危機感をもって励むことがとても重要でした。特に“消毒の徹底”です。これをしっかり行うことで、来店者・現場で働く方々の不安を少しでも軽減でき、とても責任が伴う活動だったと思います。この経験は他のボランティア活動や今後の学校生活、社会に出た際など、何かに必ず役に立つと思います。また、ボランティア活動の際に人と接する中で声が通りにくかったことがありました。私はせっかちなところがあり早口になりやすく、緊張するとさらに早口になります。相手に正確に伝えるためにも改めて、声のトーンや大きさ、速さに配慮する重要性を学びました。



来店者への検温

提案・後輩へアドバイス

私は“積極的にたくさんの冒険をしてほしい”ということを伝えたいです。現代の若者の多くは、自分や自分の周りの人が「嫌だ」「苦手だ」とはっきりしているものに対しての行動力が全くない。逆に自分の興味を引くものや、流行りのものに対しての行動力が凄まじい、と私は感じています。今自分が最も得意としているものをさらに磨くことはとても素晴らしいことです。しかし、逆に言えば、それで自分の新しい可能性を見つけられないのではないかと思います。

そのためにも、トミタンが誇る“Web ボランティア手帳”の継続と同時に、ボランティア活動を終えた人たちの感想を読んで理解し新たに興味を持った人が新たに情報発信していくことを提案します。

【 Web ボランティア手帳 】



活動後レポート画面

今後に向けて

今年は新型コロナの影響でボランティア活動に参加することができませんでした。今年はたった2回の参加でしたが、自分を見つめなおす機会を得ることができました。2年次でもこのご時世は続くと思います。就職活動や学校行事も忙しいと思います。忙しい残りの一年ではあるとは思いますが、今自分が持つ課題を達成するためにも、上手く Web ボランティア手帳を活用したいと思います。

講 評

例年ですと、食物栄養学科の学生は学科での学習内容を活かせる調理補助のボランティアには積極的に参加していますが、コロナ禍の中でもできることを見つけて参加したことは、非常に意義深いことだと思います。授業だけでは学べないことを、ボランティアを通して多く学べたことが伺えます。今後の人生においてこの経験が必ず役に立つのではないかと思います。

(食物栄養学科 教員)

活動目的・背景

学校がボランティア活動を推奨・支援しているということが大きかったです。参加したいという思いはあったもののなかなか行動に移せず、友人から誘いを受けて初めて参加してから気軽に応募できるようになりました。私は初対面の人とコミュニケーションをとることが人一倍苦手で不得意なので、二年次の校外実習や就職したときに苦労すると思いました。ボランティアで多くの人と関わった経験は、そんな自分を変えることができたり、これからも様々な場面で役立ったりすると思い参加しました。

活動実績・活動内容

- ・2020（令和2）年 10 月 18 日 富山グラウジーズ試合運営補助（観戦に来られたお客さんの誘導）
- ・2020（令和2）年 11 月 22 日 小杉まちづくり協議会ツウインクルナイト in 射水点灯式イベント補助（会場設営・来場された方の誘導・お土産の配布）

学んだこと・成果

今一番感じていることは人と関わることの喜びです。試合観戦に来られた方々も点灯式イベントに来られた方々も明るく、イベントを運営されている方々にはあたたかく私たち学生を迎え入れていただき、次回のボランティアの参加もぜひ、と言ってくださいました。そのような方々と接することで役に立ちたいと心から思い、積極的に行動しようと思って活動していました。また、お客さんの流れがよりスムーズになるように考えて改善してみたり、お声がけをするときに簡潔でわかりやすい表現で、はっきりと聞き取りやすいように言ったりすることが大切だと思いました。このような初対面の人と関わる経験によって、以前よりも気軽に人に話しかけられるようになりました。私はできなかったことですが、会場の把握をしてわからないことは質問しておく、お客さんに聞かれたときに自信をもって案内できると思いました。初めて参加するボランティアだとどんな質問があるのかわからないと思うので、よく聞かれることを事前に聞いておくとうれしいと思います。



ツウインクルナイト点灯式 来場者お見送りの様子

提案・後輩へアドバイス

小杉まちづくり協議会の方は、この点灯式の他にも一年を通して様々な地域の交流の機会を設けておられ、活動に対する思いをお伺いした時、強く心に響きました。いい加減な気持ちで参加してはいけないものだと感じました。私もそうだったけれど、やる気があれば、初めてのボランティア参加のきっかけは「楽しそうだから」等些細なことでもいいと思います。活動中にボランティアの意味を自分なりに考えて、次の活動に生かしていったほしいです。また、一緒に活動する方々に積極的な姿勢を見せることは大切だと思います。安心して仕事を任せていただくために身なりを整えたり、挨拶をきちんとしたり、時間やきまりを守ったりすることは簡単で当たり前のことだけれどするしないで印象がかなり変わると思います。任された仕事を丁寧に行ったり、改善したり、他の仕事を見つけたり、熱意が伝わるように動いたらいいと思います。

今後に向けて

自主的に参加を決めたからには受け身の姿勢ではなく、工夫できることはないか、他にできることはないか等を考えて動くべきだと頭ではわかっているけど、私にはこのような経験が少なく、初対面の多くの人の中では萎縮してしまい何もできない時間も長かったです。もっとボランティア活動の経験を積んで、知らない人と関わることに慣れていきたいです。また、情報収集し、質問されたときに対応できるようにしておきたいです。

参加したボランティアは活動内容が似ていたのでも、異なる内容のボランティアにも参加してみたいと思います。違う活動でも今回の経験から生かせることも多いと思うので、レベルアップさせながら様々な経験をしてみたいです。

講 評

平時でさえ、参加することに勇気があるボランティア活動に携わったことはとてもよい経験となったと思います。在学中はもちろん、卒業後も単発的にならず参加していただければと思います。これらの経験は学校に通うだけでは得ることができません。将来の糧となり、やっておいて良かったと思える日がきつってくるはずです。

(食物栄養学科 教員)

活動目的・背景

今年は新型コロナウイルスの影響もあり、学外でのレクリエーションの関連事業に参加し、現場から学ぶことが十分にはできませんでした。そこで私たちは、レクリエーションインストラクターの資格を取るため、また、それとともに自分たちが学んできたことがどれだけ身についているのか知る機会にもなるよう、レクリエーション科目の担当である非常勤講師の岩上先生に指導してもらいながら、自分たちの力でレクリエーション活動を実施することにしました。

活動実績・活動内容

ウエルシア薬局奥田店のウェルカフェをお借りして、レクリエーションの授業で考えた自分たちオリジナルの健康体操を披露しました。健康体操の内容として、初めに指の運動をしました。手先を動かすことで細かい作業ができるよう、意識しながらやりました。次に、歌に合わせて、指の体操と自分たちで考えた健康体操を2曲行いました。最後に、岩上先生に全身を動かす体操を実演してもらい終了しました。授業で学んできたことをある程度は発揮できたと思います。

学んだこと・成果

今回の活動で学んだことは、参加している方こそ主体であるということです。初めて人前で披露したことで緊張してしまい、早口で説明をしてしまいました。なかにはできていない方もおられたのに、進行させることで頭がいっぱいになって周りを見ていないなど、参加してくださった方々に気を配ることができませんでした。大切なことは、参加者とコミュニケーションをとることだと、あらためて意識する機会になりました。



提案・後輩へのアドバイス

これからレクリエーション活動をボランティアの一環などで開催される方へのアドバイスとしては、まず時間配分を考えることが挙げられます。特に初めての方は、自分がイメージしているよりも多くのプログラムをあらかじめ組むことをお勧めします。私たちは、時間配分までしっかりと考えていたつもりでしたが、実際は予定していた時間よりも早く終わってしまい、とても混乱してしまいました。このようにならないためには、余裕のあるプログラム構成にして、そのうえで繰り返し練習したらいいと思います。

今後に向けて

今回、自分たちでレクリエーションを企画・実践してみて、うまくできたところや反省すべきところがよくわかりました。今後は、レクリエーションインストラクターの資格を取得し、たくさんのレクリエーション活動に参加したいと思っています。そこで多くの人とコミュニケーションを取り、いろいろな経験を重ねていきたいです。そして、たくさんの人にレクリエーション活動の意義や楽しさを知ってもらえる、そんな活動をしていきたいと思っています。

講 評

自分が目指す資格に関連した活動を、ボランティア活動として企画・実践してきた報告でした。参加者とコミュニケーションをとること、時間配分を考えることの2つが学びと気づきです。

「参加者が主体」と述べていますが、自分たちが活動したいという気持ちを満足させるためではなく、活動対象となる人たちを見つめることが大切だと、私たちに教えてくれています。

(健康福祉学科 教員)

活動目的・背景

私は、将来、子どもと関わる職に就きたいと考えています。そのために、現在、幼児教育学科で「保育」について学んでいます。今年度は新型コロナウイルスが流行し、小学校が休校になり、困難を強いられた家庭が多くあったと思います。そこで、そんな家庭に少しでも元気になってもらいたいと考え、子どもと関わるボランティアとコロナウイルス対策のボランティアに参加しました。

活動実績・活動内容

- ・2020（令和2）年 5 月 コロナ禍で在宅での子育て支援を考える
子ども支援文通ボランティア
（なぞなぞ・ぬりえ・迷路作り）
- ・2020（令和2）年 9 月 NPO 法人えがおプロジェクト主催
子ども用マスク作り・配布イベント参加
- ・2020（令和2）年 10 月 3 日 付属みどり野幼稚園運動会の手伝い
- ・2020（令和2）年 12 月 19 日 リボン from とやま
子育て支援クリスマスイベント



学んだこと・成果

マスク配布会場フードパントリーの様子

マスクを作るボランティアに 2 度参加し、合計 80 枚のマスクを作りました。9 月のボランティアでは、実際に手作りマスクをひとり親家庭に配布する場フードパントリーにも参加させていただきました。子どもたちがマスクを選んでいる様子や喜んでいる姿を見て、私まで嬉しくなり、このボランティアに参加してよかったと思いました。他のボランティアでも、子どもたちの笑顔がたくさん見られました。マスクを作ったり、手紙を書いたり、劇をしたり、些細なことだけれど喜んでくれる人がいることを学びました。



ゲームの手伝い



作成したマスク 親子おそろいもあります

提案・後輩へアドバイス

私が参加したボランティアのように、Web ボランティア手帳の中には、子どもと関わることができるボランティアがいくつかあります。このようなボランティアは、学科に関係なく、子どもが好きな人は積極的に参加してみるのが良いと思います。自分の長所をボランティアに生かし、その長所で多くの人を笑顔にすることができます。自分の好きなこと、長所を生かして積極的にボランティアに参加しましょう。

今後に向けて

私は5回のボランティアに参加しましたが、すべて子どもと関係するものでした。私は子どもが好きなため、今後も子どもたちと関わるボランティアには積極的に参加したいと思っています。また、子どもとは関わらないボランティアにも今後は参加しようと考えています。ボランティアでの経験を、将来、生かしていきたいと思っています。



付属みどり野幼稚園運動会



リボン from とやまのメンバーと

講 評

入学早々、自分自身が登校できなくなり on-line 授業が始まった早い段階から、マスク作りボランティアに積極的に参加してくれました。子ども心をつかむ布地選びと丁寧な縫製に安部さんの子どもを思う気持ちと手先の器用さを垣間見ました。ご自身の長所を生かして軽やかにボランティア活動をする安部さんが、これからご自身の幅を広げるためにも対象を子どもに限らずに多くの経験から学ばれることを期待しています。

(幼児教育学科 教員)

活動目的・背景

私は、高校生の時から積極的にボランティア活動に参加しており、大学生活でも継続して行いたいと考えていました。今年は、新型コロナウイルスの流行により、思うように活動ができませんでしたが、機会を見つけていくつかの活動に参加しました。

ボランティア活動は、様々な内容のボランティアに参加することで、新しい知識が増えたり、新しい視点で物事を考えることができるようになったりと、自分自身に成長を感じることができるため、とても魅力に感じています。

活動実績・活動内容

本学内でのボランティア活動を主に、食物栄養学科の入学前セミナーや、入試説明会のお手伝いに参加しました。これから様々な思いを抱えながら入学される学生さんに、より希望があふれるように学生生活の実態や授業内容をお話ししたり、不安を少しでも軽減できるよう生徒の皆さんからの質問に答えたりしました。

また、富山グラウジーズホームゲームの運営補助の活動にも参加しました。活動内容は、入場時のパンフレットの配布や、ひざ上観戦の方に専用のシールを付けさせていただくなどを行いました。

学んだこと・成果

入学前セミナーの際に、複数の学生さんに囲まれながら包丁技術を実践するという場面がありました。このような体験は滅多に無いため緊張しましたが、これまでの本学での経験から実力を発揮することができ、技術に少し自信がつけました。そして、包丁技術に不安を感じていた生徒さんが「頑張ろう」と思うきっかけにもなったようで、達成感や充実感も得ることができました。

また、ボランティアの活動中は、作業などを行いながらも、もっと自分にできることはないか、困っている人はいないかと、周囲をよく見て積極的に自分から声をかけるよう意識していました。そうすることで、相手を思いやる力が身に付いたと感じています。



入学前セミナーの包丁技術実践の様子

提案・後輩へアドバイス

私は、ボランティア活動に参加することで、必ず何かを得ることができると思っています。自分や仲間の新しい一面の発見、想像力・判断力・思考力の向上、また、将来自分がやりたいことにも巡り合えるかもしれません。住み慣れた街ではなく、普段は行かないような街でボランティアに参加することで新しく発見できることもあります。自ら行動することで、様々な幸せに出会えるので、まず一つ、ボランティアに参加してみましょう。

今後に向けて

短大での二年間、様々なボランティア活動に取り組み、そこで得たことは、今後社会人として働く上で生かすことができることばかりだと感じています。特に、多くの人との関わりの中で得た「相手を思いやる力」を大切にして、これからも活動領域を広げつつ、継続してボランティア活動に取り組んでいきたいと考えています。



富山短期大学調理実習室



相手の気持ちになって説明



包丁技術披露

講 評

多くの人と関わりながら活動をするボランティアは、学びの宝庫ですね。相手の方が困っていないか、自分にできることはないかを常に考えながら行動することで、より学びを深められたことと思います。ボランティア活動を通した学び、気づきを忘れず、今後も大切にしていってくださいね。

(食物栄養学科 教員)

活動目的・背景

私は、小学生の頃チアリーディングをしていて、何度かイベントに参加する機会がありました。その際、「ありがとう」と声を掛けていただき、喜んでもらえたことで、自分自身も喜びを感じることができました。それをきっかけに「人のために行動したい」「誰かの役に立ちたい」と思うようになり、中学生の頃からボランティア活動に参加してきました。そして短期大学でも積極的にボランティア活動に参加しています。

活動実績・活動内容

◎赤十字血液センターマリエ献血ルーム

検温・アルコール消毒のお願い、1 時間ごとの除菌、資料・粗品配布、配布物折り、お菓子の袋詰め

◎富山グラウジーズ：試合運営補助

予約商品の受け渡し、タオルの交換、修理希望商品のお預かり、当選商品の受け渡し、再入場券配布、パンフレット配布 等

◎富山グラウジーズ：会場設営・撤退

パネル・ボードの設置・回収、チラシ折り込み、整理券作成、コート解体、マット片付け 等

学んだこと・成果

一人一人に笑顔で元気よく対応することを心掛けたのですが、相手の方も楽しそうに話してくださり、関係者の方にも褒めていただいたことで、人と関わるのが楽しいと感じ、人との繋がりは大切だと改めて感じました。

また、決められた仕事を行うだけでなく周りを見て行動し、自分には何ができるのか、他にどんな仕事があるのかを考えて行動するように意識したことで、仕事をスムーズに進めることができました。

提案・後輩へアドバイス

ボランティア活動に参加することで、様々な人と関わることができ、人との繋がりが自分自身の視野を広げることができます。また、活動の中での気づきや学び、知識などが自分の強みとなってくるので、今後の就職活動にも役立ってくると思います。

人のための行動であっても、自分が得られるものも多くあり、成長にもつながるので、ボランティア活動に是非参加してみてほしいです。

今後に向けて

今後はさらに多くのボランティア活動に参加し、まだ体験したことのない活動についても知っていきたいです。現在はコロナウイルス感染拡大の影響で難しくなっていますが、県外のボランティア活動にも参加し、幅広い地域の方々と交流してみたいと思っています。

今までの活動で得た自分の強みを、今後の就職活動や日常生活で生かしていきたいです。



マリエ献血ルームでのボランティアの様子



クリスマスツリーの飾りつけ

講 評

コロナ禍にあって、とても貴重な経験をされたと思います。成果として述べられている「笑顔で元気よく」や「自分には何ができるのか、他にどんな仕事があるのかを考えて行動する」という心掛けはビジネス現場では勿論ですが、100 年時代といわれる人生を自他共に豊かにする最高の潤滑油だと思います。これからも積極的にボランティア活動に参加し心に莫大な財産を築きあげてください。

(経営情報学科 教員)

活動目的・背景

私がボランティアをやろうと思ったきっかけは、二年間という、大学生よりも短い、最後の自由な時間がたくさんある機会の中で、様々なことを体験してみたいと思っていました。自分から行動し、成果を出し、そこから新たな気づきを得る。そのような体験は、今後自分が社会人となっていくうえできっと役に立つかも知れないと感じ、ボランティアセンターにあるボランティア内容や、他学科の先生方と協力して活動しました。

活動実績・活動内容

私が今年行っていた活動内容は、幼児教育学科や特別養護老人ホームささづ苑様と協力して作成した防災マップ作り、幼児教育学科の方々と協力した文通、広報チラシ作成、マスクづくりなどです。防災マップは、ささづ苑様より表彰を頂き、多くの協力を得てとても良いものに仕上がったと感じています。また、防災マップは今年も区域を変え富山短期大学内でさらに良いものを作成しています。



大沢野・細入地区エリア防災マップ

学んだこと・成果

私が今年参加したボランティアで学んだことは、人のために役立つものを作成するということの重要さと責任です。そのことは、特に防災マップの活動で学ぶことができました。防災マップの活動では、最終的にマップ内に書かれている区域の皆さんにマップを配りました。市民の皆様がもしこのマップを活用するとなった時、間違った情報は書けないというプレッシャーが、自分自身にとって良い経験となったと同時に、今後の学びにもつながったと感じています。

提案・後輩へアドバイス

興味のあることがあれば、何事もとりあえず自分から足を踏み出してみることをお勧めします。ボランティアは、やればやるほど、今までなら体験することのないだろう業界の様々な人の話や仕事をほんの少しだけ体験することができます。それはとても楽しいことです。就職活動などにも勿論役立ちます。私自身も、今回行ったこの様々な経験は、必ず大人になった後に活かされていくだろうと信じています。

今後に向けて

今後は、このボランティアで得ることのできた責任感と積極性を仕事にも生かしていきたいと思います。積極的に自分から仕事をこなしていくことが重要だと思いますので、これらの力は少なからず役立つと思います。

また、このボランティアの際に心がけていた、様々なことに興味を持つことは、今後人生を歩んでいくうえでも、ずっと心がけてさらに楽しい経験ができるようにしていきたいと思います。



老田地区作防災マップ表紙



イラストも創作サークルメンバーでオリジナル作成しました。



講 評

人は人を映し出す鏡だといわれます。コロナ禍での活動を通して、改めて人と人のつながりの必要性を実感したことと思います。興味のあることがあれば、まず自分から踏み出してみると書いてるように、まずは自分の興味・関心をとらえ、それに合った活動をマッチングしてくれるのが、Web ボランティア手帳であり、ボランティアセンターです。そして、自分のやってみたい活動内容がボランティア手帳に掲載されていない場合は、自分で開拓することもできます。ボランティア活動は、自己の主体性や自主性を醸成し、成長することもできます。

(幼児教育学科 教員)

活動目的・背景

- ・ボランティアに参加して、さまざまな年代の人と交流したいと思ったから。
- ・授業で学んだことを、実践できると思ったから。
- ・ボランティアの経験が、将来の仕事にも活かすことができると思ったから。

活動実績・活動内容

【リボン from とやま主催】

- ・2020（令和2）年5月 コロナ禍で在宅での子育て支援を考える
子ども支援文通ボランティア（なぞなぞ・ぬりえ・迷路作り）
コロナ対策 子ども用マスク作りボランティア
- ・2020（令和2）年 7月22日 コロナ禍児童虐待予防啓発活動の企画・立案
- ・2020（令和2）年 8月25日 「オンラインで子育て支援」 広告チラシ作り
- ・2020（令和2）年 8月29日 「オンラインで子育て支援」 子ども達とダンスを楽しむ
- ・2020（令和2）年 9月 4日 「オンラインで子育て支援」 広告チラシ作り
子ども達とダンスを楽しんだり、体を使った遊びを楽しんだりする
- ・2020（令和2）年11月15日 なんとキッズライツフェスボランティア
自分たちで考えた遊びで子ども達と遊ぶ(写真1．写真2)

【NPO 法人えがおプロジェクト主催】

- ・2020（令和2）12月13日 シングルママフェスタ 自分たちで考えた遊びで子ども達と遊ぶ(写真3)

（写真1）



なんとキッズライツフェス

（写真2）



（写真3）



シングルママフェスタ

学んだこと・成果

- ・コロナ禍で、対面でのボランティアには数回しか参加できなかったけれど、改めて人とのつながりの大切さを学ぶことができました。
- ・ボランティアを通して、感謝の気持ちをどんな形でも、しっかり言葉に表すことで気持ちが伝わると学びました。
- ・この企画で楽しんでほしい、笑顔になってほしいと考えながら企画することで、相手も楽しむことができると学びました。
- ・自分たちで、企画・立案する中で、指導案を考えたり、子ども達が楽しめる活動について考えたりして、将来の仕事にアイデアを生かしたいと思いました。
- ・自分の考えた遊びがそれぞれの家庭に広がっていったのを感じることができて、嬉しかったです。

提案・後輩へアドバイス

- ・コロナ禍で、人と人が会うことが難しい今だから、もっとオンラインでのボランティアがあるといいと思います。
- ・ボランティアに参加することで、人脈やものごとに対する視野が広がり、自分の知らなかったことにも触れることができ、さまざまな経験を積むことができるので、積極的に参加してほしいと思います。

今後に向けて

- ・これからもさまざまなボランティアに参加して、経験を積んでいきたいと思います。
- ・今年は、子ども達と触れ合うボランティアが多かったので、来年はもっとさまざまな年代の人と交流することができるボランティアに参加したいと思います。
- ・これからも笑顔と人とのつながりを大切にしたいと思います。
- ・社会や地域の情報をもっと取り入れていきたいと思います。

講 評

リボン from とやまの継続的なボランティア活動に自主的に参加し、アイデアを実現していく過程を体験しながら多くを学んでいる吉野さんですね。手作りの色とりどりでかわいらしいペットボトルキャップのタワーつみゲームはどこに行っても子どもたちに大人気でしたね。素敵な発想をこれからも形にしながら、短大の学びと地域での活動を往還しつつ次の1年さらなる成長を楽しみにしています。

(幼児教育学科 教員)

活動目的・背景

1 年生のときに、何か所もボランティアをして楽しかったので、2 年生になってもボランティア活動をして誰かのために役に立ちたいと考えていましたが、2020 年 1 月に新型コロナウイルスのためイベントがあまりなく、人と関わるのが少なくなりました。たくさんはできないものの自分が自力で行ける場所で無理せずにボランティアできる場所を、短大の Web ボランティア手帳で探しました。

活動実績・活動内容

1 つ目は、富山市手をつなぐ育成会の知的障害をもつ方とのボウリング大会と一緒に盛り上げたり、一緒に食事をしたりして楽しんだこと。2 つ目は、2 月に開催された富山グラウジーズでのチケットもぎりや再入場された方や初めて入る人の手にスタンプを押して機械でチェックする作業。3 つ目は、短大で行われた学生定期健康診断の手伝いでした。主に白衣を身に付けて学生が間隔を空けて並んでいるかを確認するという内容でした。4 つ目は、射水市小杉まちづくり協議会主催「下条川夏の夕べ」のイベント補助をトミタンのインターンシップ生や県立大学のゼミ生と一緒に行いました。最後に、10 月に開催された富山グラウジーズではチケットもぎりでも観客の方に道案内をしたり、たくさんの質問に応えながらチケットの確認などをしました。

学んだこと・成果

知らない人と同じ作業をして、普段の学校生活では味わえないような体験をすることができます。また、人から「ありがとう」と言われて自分の行ったことはこれでよかったんだと、自分をほめることができたことです。

富山グラウジーズで体験したことでは、自分が現場の状況やどこに何があるのかを知らない、いざ人に聞かれても応えられないことを痛感しました。

提案・後輩へアドバイス

自分と違う人でも嫌な顔をせずと一緒に頑張って仕事をする。ボランティア活動はめんどくさい、寒い、暑い、嫌だという負の感情になりやすいですが、強制はせずに、就職活動で何らかの役に立つだろうと考え、1 つでもボランティア活動を体験すればもっと他にやってみたいという向上心が芽生えてくるでしょう。またボランティア活動をきっかけに、自分のしたいこと、これを強みとして極めていきたいことなどが見つかるかも知れません。

今後に向けて

量や質に限らず自分はこれをしたいと自信を持ってやりたいことに挑戦したいと考えています。

またこれから社会人になりますが、2年間のボランティア活動で得た学びや経験、そこから得た自身の考えを生かして、自分とは違う人でも交流を深め、互いに理解し合い、「ありがとう」と言えることを進んでやっていきたいと考えています。

富山市手をつなぐ育成会会員の皆さんと



一緒にボウリング大会を楽しみました



大会賞品のお渡しを担当

講 評

人一倍様々なボランティア活動に積極的に参加したことは、誇りに思ってください。大勢の縁があった皆さんにはありがとうと感謝されたに違いありません。そして、ゼミ生として、司書課程の履修生として、2年間を一緒に過ごした私としても、岩上さんの辿った道のりを誇らしく振り返ることができます。就活に悪戦苦闘していた頃、卒業研究のテーマを相談していた頃を思い出します。これからも岩上さんらしく、立ち止まりながらもつまずきながらも進んでいきましょう。マイナス（－）とマイナス（－）を掛け合わせるとプラスだ！

（経営情報学科 教員）

活動目的・背景

実際に子どもたちと関わることで、接し方や言葉がけなどを学べる機会になると思いました。子どもだけでなく、パパママと交流することで、今何に困っているのか、どのような支援を求めているのかを知りたいと思いました。更には自分のスキルアップに繋げ、自分のできることをしたいと思いました。

活動実績・活動内容

ボランティア名	内 容
コロナ子ども支援文通ボランティア	子どもと文通を通してコミュニケーションを取る
リボン from とやま コロナ禍虐待予防啓発活動についての企画・立案	コロナ禍での子どもや家庭支援について考える
みどり野幼稚園運動会手伝い	運動会設営の準備や片付け、子どもの援助など
リボン from とやま なんとキッズライツフェス	レモネードスタンドや焼き菓子の販売 マラカス作りブースの運営
富山グラウジーズ	試合運営補助、入場案内やチケットもぎり、プログラム配布
NPO 法人えがおプロジェクト シングルママフェスタ	折り紙コーナーの運営、子どもと一緒に制作する（はらぺこあおむし）
リボン from とやま クリスマス会	マラカス作り、Zoom でのオンライン活動、その他運営手伝い
リボン from とやま コロナ禍での子育て支援活動 Zoom	それぞれの家庭と Zoom で繋がり、事前に配布した制作道具を使用し、一緒に制作をしたり、クイズやダンスを行う

学んだこと・成果

一つの活動を行うのに、事前に様々な準備を行い、安全面や環境面に配慮し、多くのスタッフに支えられていることを学びました。人や地域との繋がりの大切さを実感しました。子どもたちは、子育て支援という目的の活動に多く参加し、子どもだけでなくパパママ方の笑顔を見られ、嬉しさと達成感を感じました。自分でもできることがあるのだと気づき、もっと活動したいと強く思いました。



なんとキッズライツフェスの様子

提案・後輩へアドバイス

- ・他の学科の方と繋がる活動をしたいです。
- ・興味のある活動や、参加してみたいなと思う活動があると積極的に参加し、多くの経験を積むことは自分の学びや成長に繋がります。新たな友達との出会いや、先輩方とも仲良くなれ、充実した学生生活になると思います。学生のうちにしかできないことを、より多く経験してください。

今後に向けて

今、自分がメインとなって活動を企画しているので、1 年間ボランティア活動に参加して得た知識や学びを活かして、親子の笑顔や喜びを引き出せるような企画を考えていきたいです。来年度も、積極的にボランティア活動に参加し、人と関わる場や企画する場を自分自身で増やしていきたいです。



クリスマス会 リボン from とやまのメンバーと



富山グラウジーズ試合会場にて

講 評

1 年間で、多くのボランティアを経験されました。各活動の参加前と参加後の心情や対象理解について、自己の変化や成長を振り返り、評価をしておく、今後の課題を見出すことができるでしょう。課題をもつことで、今後の短大の授業で学ぶ中で解決したり、次の活動の際に意識して取り組んだりすることができると思います。活動を単発でとらえるのではなく、連続的にとらえ、つながり、重なり、深まりをもつようにするとよいですね。これからは、後輩の育成や自ら発信できる活動を増やしていくと、さらに磨きがかかると思います。期待しております。

(幼児教育学科 教員)

2020 年度ボランティア活動報告集を読んで

健康福祉学科 教授 関 好博

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、ボランティア活動も大きく制約を受けた一年になりました。そういったなかでも、感染症予防に配慮しながら活動に参加した学生たちの報告集に興味深く読ませていただきました。その文面から、本学が人間力向上の手立てとしてボランティア活動への参加を推奨している意義を、あらためてふり返る機会となりました。

参加した学生たちが口々に述べている（書いている）のは、「いろいろな人や生き方と出会えたこと」「人の役に立てた喜び」「新しい自分を発見できた」、そして「自分を変えるきっかけになった」など、ボランティア体験がもたらしてくれた数々の自分への影響です。「互酬性」という言葉で説明されることがありますが、本学が「地域を学びのフィールド」としてボランティア支援センターを設けたねらいはそこにあります。

もしかすると、ボランティア活動を「食わず嫌い」になっている学生がいるかもしれません。騙されたと思って（騙すつもりはありませんが）、何か興味を持った活動に飛び込んでみませんか。それこそ、「自分はこういうこともできるんだ」とか「意外とこんなことが得意だったのか」などが見つければ儲けものです。活動を通して見つけた自分の強みを、誰かが書いているようにこれからの生活や就職活動に生かしてはどうでしょう。

「ボランティアに参加するきっかけはさまざまでいい」と学生自身が述べているとおり、どんなかたちでも興味を持った瞬間が、活動の一番のタイミングであることは間違いありません。「ボランティアの自発性は揮発性」と、ボランティア・コーディネーターのなかで言われています。思い立ったときすぐ Web ボランティア手帳へアクセスしてもらえたら、きっと誰もがボランティアになれるはずです。みなさんも一度試してみてください。

さて、ウイズコロナの社会環境は、みなさんの気持ちにどんな変化をもたらしましたか。報告集には「こんなときだからこそ、人の役に立ちたいと強く思うようになった」との心情がうつられていました。たいへん心強く、また温かく感じる言葉でした。人に会っての活動が難しい一年でしたが、次年度は ICT を活用した新しい形態の活動も生まれてくるかもと期待をしています。みなさんだったら、日頃の学びを活かしたどんな活動を考えだすでしょうか。

以前、社会福祉協議会でボランティア・コーディネーターとして勤務していた時、地元の小学校の先生からこんな問い合わせを受けたことがあります。「ボランティア活動の一覧表をもらえませんか」。実は、そのような一覧表は存在しません。なぜなら、ボランティア活動の対象は無限にあるからです。あなたが社会を見つめて気になったことで、自分にもできるのではないかと感じて参加したこと、それがボランティアになっていきます。

今のあなたができることで、ぜひ「はじめの一步」を踏み出してください。「心のソーシャル・ディスタンス」だけは、どうか取らないでいてもらえたらと願っています。

（ボランティア支援センター サポーターを代表して）

編 集 後 記

2020 年度、新型コロナウイルス感染症の全国的な流行の影響で、年度当初より学校の休校が相次ぎ、緊急事態宣言の発令と外出自粛要請に加えてマスク不足など、これまでに経験したこともない状況が発生しました。本学も4月から対面授業を一時中止しオンライン授業や分散登校となりました。しかし、その後のコロナ禍の中でも、創意工夫を凝らしながら、実施可能なボランティア活動を続けた結果、この度、2019 年度に続く2回目の報告集を無事編さんできたことに安堵しております。これも皆様方のご支援・ご協力の賜物と感謝申し上げます。

今後とも、皆様方からより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、編集後記といたします。

2021 年 3 月発行

富山短期大学 学生部 ボランティア支援センター

〒930-0193 富山市願海寺水口 444

TEL 076-436-5146（代表）

076-436-5457（直通）

MAIL volunteer@toyama-c.ac.jp